

## 第19回網走市選択する未来会議発言要旨（令和7年8月27日（水））

～第2期網走市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について、資料に基づき事務局より説明～

### ●議長

ただいま事務局からご説明いただきましたが、ここから意見交換等に入ってまいりたいと思います。多岐にわたっておりますので、基本項目に沿って意見交換をしていけたらと考えております。

第2期総合戦略に関しては、日本でコロナが感染拡大した当初からポストコロナの4年間の影響を多分に受けているとご説明がありました。

その中で、基本目標1「地域づくりを担う組織との協働による誰もが安心して働くための産業振興と雇用の場の創出」について、何かご質問やご意見はございませんでしょうか。

### ○委員

オホーツク産もち麦についてですが、これは現在難しい状況にあります。実際問題として、産地化やそういったところは、仮に実現したとしてもかなり時間がかかるというところと、ほとんど可能性が薄れてきていて、正直言って動きはほぼない状況です。

取り組みというより、作るための障壁がたくさんありまして、それをなかなかクリアできないというのと、買う側がどうしても品種の問題で限られて一般流通にのせようというシステムを出していますから、買う業者が決まってるなら契約しましょうかという話になると、儲け主義に走る業者だとそれはなかなかできないというところでずっと平行線をたどっているの、このままいくと違う業者とかが出てこない限りは達成できないんじゃないかという状況なので、この項目が毎年ここに出てくるということが、現場としては非常に居心地の悪い感じはします。

### ●事務局

もち麦は、第2期戦略策定時には、皆でやっていこうという機運もあり目標に掲げましたが、なかなか思うようには進んでいないことは私たちも理解しています。本年度から始まっている第3期総合戦略からは、もち麦に関する指標を外しております。

### ●議長

そうすると、これは技術的というよりは流通的な問題ということですか。

### ○委員

いろいろな問題があり、一度やってみてよくわかったというところで、やはり地元の人たちが安心して作れないものを作ってもどうしようもないというのが一番の問題なので、それをクリアするのはもうしばらくかかるか、もしかしたらこのまま終わってしまうのか、どちらとも言えない状況です。

### ●議長

チャレンジしてみてもわかることもあるということですね。  
豆類の方はいかがですか。

### ○委員

豆類は逆にすごく成長する分野で、ただ国は大豆等に関して奨励はするんですが、実際は物流的に見ると少しだぶつき気味というところも否めないところですよ。

小豆に関しては、十勝からこちらに産地が移動しつつありますが、もう少し面積が増えてくるかなと思っている割には大きくは増えてきていません。

ただ、豆類全体にすると非常に増えているのは事実です。

●議長

ありがとうございました。  
そのほか、いかがでしょうか。

○委員

4 ページの就労機会の拡充のところ、高卒卒業者市内就職率の達成率が 85.5%ということですが、その後の 3 年目や 5 年目あたりの定着率はどのくらいなのでしょう。

●事務局

定着率を統計的に把握しているものではありません。ただ、網走市内に就職してくださった方が長く勤められる環境が整っているかどうかは大事な観点かと思しますので、関係機関とも協力しながら、定着率を計る仕組みがあるかどうか考えてまいります。

○委員

3 ページの中心市街地の通行者数について、2 月の新庁舎移転の説明がありましたが、その後、今日までどのように推移しているかわかれば教えてください。

●事務局

中心市街地の通行者数の調査は、年に 1 度、秋にしか行われませんので、現時点で新庁舎が開庁したことによる効果を推し量るものはございません。

通行者数調査は過去、年 1 回の調査のみ判断するのはどうかというご意見もいただいております。測定した日がたまたま人通りが少なかったのか、あるいは偶然多かったのかという可能性もありますので、どのような指標を用いるべきかも含め、内部で相談させていただきます。

●議長

そうですね。KPI が設定されていますから、やはりデータの取り方は工夫が必要かなと思います。

そのほか、評価 C の項目に関して、地域おこし協力隊の定着率もコロナの影響と考えてよろしいでしょうか。

●事務局

地域おこし協力隊については、もともと 5 人を定着させたいという思いで進めておりましたが、協力隊を活用できる環境、分野、ジャンルというものが見当たらず、そもそも任用自体が思うように進みませんでした。5 人を目指していたものの、定着に結びついたのは 1 名のみという状況です。

●議長

基本目標 1 はだいたいよろしいでしょうか。

では続きまして、基本目標 2 「観光や健康、スポーツなど網走の地域特性を生かした交流・関係人口の拡大」に対して、ご意見等をいただきたいと思います。

いかがでしょうか。ここが一番、コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたところかなと思いますけれども。

●事務局

基本目標 2 は特に人の流れ、人の動きに期待を寄せる指標がほとんどです。

5 年間の期間中、3 年以上がコロナ禍で、その間に緊急事態宣言が、多いところで 4 回出されたという状況もあり、影響をまともに受けた目標であったと分析しています。

ただ、観光入込客数につきましては、目標の 199 万人には及んでおりませんが、コロナ禍が明けてから少しずつ回復の兆しを見せており、令和 6 年度では 157 万人、平成 30 年の基準値を上回る結果には至っています。

達成率も 78.9%ですので、そんなに努力が足りなかった、結果が伴わなかったというも

のでもないかなという見方もしております。

**○委員**

コロナの影響でスポーツ合宿などが縮小になったとは思いますが、今後増えてくる可能性は十分あると思います。

ただ、スポーツ合宿をするときに、選手の怪我等をバックアップする医療機関があるのかどうか、選択する上で重要な要因になると思います。

今後スポーツ合宿が増えてくると見込まれるときに、合宿するチーム側の選択肢として、怪我等をバックアップする医療体制が整っているというのは大きな条件になってくると思うので、そのあたりについて何か市で対策はありますか。

**●事務局**

シーズンインの時期が変わり直前合宿を行えなくなったことから減少しましたが、もともと網走市はラグビー合宿が非常に盛んでした。

ラグビーは人の当たりが大変強いので、整形外科はもちろんのこと、脳震盪の心配もありますので脳外科も欠かせないところでした。

脳外科はクリアできまして、次は整形外科です。現在、医師の派遣や常駐について、関係機関と交渉を進めています。

**○委員**

オホーツク網走マラソンの数値は、こちらには入っていないのでしょうか。

**●事務局**

入っておりません。

毎年、応援される方も含めると 3,000 人近い方が集まる単独のイベントですので、そこは別で扱いたいです。

第 2 期戦略ではお示しできるものはありませんが、今年度から開始した第 3 期戦略では、オホーツク網走マラソンの人数を別に KPI として用意しており、その点を明確にしていきたいと思います。

**○委員**

5 ページの網走応援人の募集活動は、具体的に何か行われているのでしょうか。

**●事務局**

市の公式サイトで呼びかけをしております。

これまでは、ふるさと納税をしてくださった方にご案内できる仕組みがあったのですが、事業者の変更によりそれができなくなりました。今は公式サイト、あるいは口コミ等で広めていただいている状況です。

**●議長**

基本目標 2 に関しまして、ほかにかがでしょうか。

では、基本目標 3 「若い世代が健康で希望に応じて結婚、出産、子育てができる環境づくり」に移りたいと思います。

消滅可能性都市といった評価軸もありますが、それに関わる、わかりやすく網走の持続、発展に関わってくるところかなと思いますけども、いかがでしょうか。

**○委員**

やはり人口減少の問題も含めて、子供を育てやすいというのは網走に定着する方を増やす意味でも非常に重要なことだと思います。

2 年前に生まれた子供は市内では 120 人程度しかいないということで、そういう状況がもう 4、5 年続いていて、来年くらいから小学校に 100 人台しか入らないということになるので、学校の機能がどうなっていくのか、学校統廃合の問題はどうなのかということが非常に

気になっています。

子育てしやすいと感じる割合を高めていくためにも、子供が減ってきているという事実は明らかだとしても、それに対する将来的なビジョンや、このようにしていくという方向性、例えば学校が減っていくということがわかっていれば、それなりに対処するという考え方も生まれてくるのかなと思います。

進学の問題も含め、どういうふうに地域で育てていけるのか、住んでいる人たちに安心してもらえるような発信ができたらいいいのかなと思います。

さまざまな取組をいただいているのはわかっていますが、現役世代は将来にどんな展望を抱けるかという点に不安があるのかなと感じています。

#### ○委員

子育てしにくいと感じる理由は何なのでしょう。

その点がわからなければ、何を改善すべきか見えてこないと思います。

#### ○委員

意外と近隣市町村の状況を知っているので、比較してもっとこうだったらいいのになというのがあるのかもしれませんが。

あとは先ほど言った先々に対する不安というのが、なかなか形にはしにくいけども持っているというのはあるのかなという気はします。

#### ○委員

婚活イベントというのは、何か特定のイベントのことですか。

#### ●事務局

行政が婚活パーティーを主催するという形式はなかなか取りにくいいため、こうしたイベントを実施してくださる団体へ金銭的な支援を行い、実施していただくという取り組みをしています。

そのイベントの中でカップルが成立した数を主催者から聞き取り、KPI としてカウントしています。

#### ●副議長

カップル数がなぜ増えないのかというと、予算ありきの話であって、お金がなければ大きなイベントは開催できず、人を呼び込めないんです。

網走市として出してくれるのはわずかなもので、これで数を増やせというのは無理な話です。増やしたいのであればそれなりのことをしなければならいわけで、その中でこのような状況になってますが、これは致し方ないことです。

遠軽などは予算 10 倍でやっていて、もちろん効果もあります。

ですから、網走市としての支援をどれだけ本気度を持ってやってくれるか、そこにかかってくるでしょう。

#### ●議長

第 3 期ではどのような計画になっているのでしょうか。

#### ●事務局

第 3 期でも指標を定めており、今後 5 年間で合計 30 組、年 6 組程度を目標としております。

令和 7 年度からは市の補助も倍額しており、今後イベントが大型化していくようであれば、予算の増額も視野に入れ、しっかりと支援していきたいと考えております。

#### ●議長

年度ごとに予算が変えられるのであれば、規模拡大に応じて変えていくというのが効率がいいですね。

●事務局

この支援制度が始まったときは、少人数でのイベントが多かったのですが、それに合わせた予算規模だったのですが、最近はイベントが大型化してきておりますので、令和7年度からは予算を倍増したところです。

ただ、それで十分かどうかは今後様子を見ていかなければいけないので、状況に応じて支援できる金額は流動的に考えていきたいと思っています。

●議長

実績が高いということは効果が高いということだと思いますので、投資する価値はあるのかもしれない。

●事務局

どうしたら子どもを授かるかというところで、これまで子育てのしやすさに主眼を置いて取り組みを進めてきましたが、育てやすさに重点を置いた政策では、実は子どもは増えないのではないかとということが、最近の結果から感じるところです。やはり、出会いから結婚という流れがないと、子どもが生まれるという状況にはならないんだろうということです。

出生率の向上には、子育てのしやすさを充実させるよりも、こちらの方が結果に結びつくのではないかという思いがあるところで、KPIも定めながら引き続き取り組みたいと考えております。

現在の人口を維持していくには、出生率が最低でも2.07以上必要という状況の中、北海道ではわずか1.01、全国平均でも1.15ということですので、国として人口減少に歯止めがかかっていないという状況です。

ただ、それをどう緩やかにしていくかというところで、これまでは子育てのしやすさに重点を置いてきたところですが、そうではなく、出会いや婚姻に直接結びつく政策、ここを行政が直接やるのは難しいところですが、そういったところにも少し目を向ける必要があると感じています。

●議長

ここが一番難しいところで、かつとても重要な目標ということで、第2期においては評価Cとなっていますが、引き続き注力し、この会議でも注視していくことになるかと思います。

それでは続きまして、基本目標4「東京農業大学、日本体育大学などと連携し、地域を支える人材の育成・確保」について、資料8ページになります。ここについて、ご意見、ご質問はございませんでしょうか。

ここは比較的、コロナウイルス感染症の影響は少ないところですかね。

●事務局

学校の臨時休業が少しあったくらいです。

その中で、国が定めるGIGAスクール構想の中、ICT教育をどんどん進めてきました。また、並行して先生方のデジタルツールを使う研修を遅れずにやってこれたというところが、高い評価につながっているのではと考えております。

○委員

9ページの学びの場の充実について、市民対象講座の数はわかりますか。

●事務局

カウントの対象としているのは、市民大学、あばしり学の成人コース、科学大学との連携講座、観察会等の各種講座、教育普及活動、多文化共生に係る取り組み、これらの講座をすべて足したものです。

○委員

農大の就労者数ですが、27人ということで、目標値が39なので残念ながら達成率69.2%

ということですが、成果としては平成 30 年から 3 倍に増えているという考え方もできますし、こういう方が増えていくことが、次の卒業生にも良い影響を与えることは間違いのないと思いますので、引き続き地道に取り組んでいくことが大事だと思います。

日体大はできたばかりということですので、目標値を 15 に設定していますが、半分以上達成できているというのは、今後につながる大きな足がかりになると思います。

あとは、日体大連携スポーツ教室の参加者数も増やしていくことで、地域の人との関わりもできますので、継続して第 3 期も、何か新しい取り組みも含めてやっていけたらと思います。

#### ●議長

東京農大は 9 割が本州からの入学者で、8 割が本州に戻っています。つまり 10%、1 学年 400 名ですから 40 人くらいが北海道に残ることになっています。

北海道、特に網走を気に入って残りたいというきっかけが多いので、我々大学側としても、魅力的な市内の企業を紹介するとか、もうちょっと努力の余地があるかなと思っております。

#### ○委員

本州出身で就職してくれる子たちは、網走に残るとというのが第一条件で選んでくれているというのがあります。

最終的に何が決め手か聞くと、網走に長く住んでいたのも、ここが一番いいと言って就職してくれる人が多いのが実情なので、彼らに網走の魅力をちゃんと伝えていけば、結構残ってくれる人もいますし、人によっては 10 年前に卒業したけどやっぱり北海道に戻りたいといって入ってくれた人もいますので、4 年間でどれだけ網走の魅力を伝えられるかというところがキーなのかなと思います。

#### ○委員

居酒屋さんや農業、漁業もそうですが、農大生がいないとそもそも立ち行かないような、労働者としてもすごく活躍いただいていて、そういった交流を通じて網走に残ろうという方も大勢いらっしゃると思いますので、学生支援といったところは、市だけをお願いするのではなく、農家や漁協も含め、やれるところは連携を深めていくというのが非常に重要ではないかと思います。

#### ●議長

基本目標 4 に関してはよろしいでしょうか。

それでは最後、基本目標 5 「誰もが活躍し、安心して暮らすことができる時代に合った共生型地域社会づくり」に移ります。

ここは高い評価が並んでいます、ここに関してはいかがでしょうか。

#### ○委員

新規開業医療機関数について、網走市では新規に開業される先生方への支援が大きな効果をあげており、実際に医療機関数も増えて大変ありがたく思っております。

おかげで休日当番もうまく回るようになって、周辺の市町村では網走市ほど手厚い支援は行っていないため、この点は評価されています。

しかし、新規開業医療機関は増えているものの、医師の数は増加しておらず、減少傾向にあり、医療体制の維持が難しい状況にあります。また、医師全体が高齢化していて 60 代以上の医師がほとんどですので、10 年後、15 年後にどうなるのかという懸念があります。

地域の医師は、基幹病院から地域医療へという流れがありますので、開業医への支援だけでなく、基幹病院に対する支援の充実を図っていくことが必要なかなと感じています。

#### ●議長

医師の方が網走で開業される場合の魅力はどういうところにあるのでしょうか。

○委員

クリニックではどうしても高度な治療はできないため、周辺にそうした医療をお願いできる医療機関があるかどうかがまず一番大きな理由になると思います。

最低限、二次救急なりそういう医療機関が充実していないと、普通のクリニックもなかなかやろうとはならないというのがあります。

もう一つは金銭的な開業医への支援で、現在ほかの町も始めている中、網走は割と早くから始めたのでいい流れになっていると思います。

●議長

教育と医療の多様性が、その地域の活性に極めて重要だという話もありますからね。

○委員

もしかしたら住みやすさとか、子育てのしやすさとか、そういうものにとっては大きなファクターになっているんじゃないかなと思います。

○委員

ライフラインの関係で路線バスの話ですが、どこバスが非常に好評で、最近の若い子は車なしで、どこバスを利用して4年過ごして通勤するという人がいたり、都市部から来られた方は車を買うのを躊躇して、どこバスがあれば結構行けるかもとあって、とりあえず1年は車を買わないでみようかという人もいます。

路線バスの方ももちろんそれなりに走っていただいているので、観光の方にも路線バスを利用していただきたいということで、JRとバスの時刻を載せた冊子を民間で配っていただいている方がいらっしゃるの、そういったものが観光客にも届くように行政の支援があればやりやすいのかなと思います。

あとは、網走は幸いにして非常に災害が少ない地域です。地震や大雨、洪水というのほとんどないので住みやすい街だと思いますし、ライフラインの補修も少なくて済むということだと思います。

災害があると同じ地域に住むのを躊躇してしまう、流出してしまうということがありますので、網走は災害が起きにくい街ということをアピールしていくこともいいことなのかなと思っています。

○委員

防災ラジオというのは何歳以上が対象ですか。普及率が62%しかいないというのは、必要としていなくてこの数値ということですか。

●事務局

もともとは75歳以上の方、防災情報をSNSやインターネットで入手しにくいであろう方を主な対象に、ラジオでプッシュ型で情報を伝えましょうというところから始めましたが、意外と皆さん、インターネットなどをお使いになられていて、いらないという世帯が想像以上にありました。

ラジオを在庫で持っているのももったいないですから、今は年齢制限を取り払って、ご希望の方には誰にでもお貸ししています。普通のラジオも聞けますし、緊急時には地域FM放送局の協力を得ながら、防災放送が強制的に割り込むようになっておりますので、周りに興味がある方がいらっしゃれば市にご一報いただければと思います。

●議長

基本目標5に関してほかにございますでしょうか。

それでは、全体を通して何かご意見やご質問などはございませんでしょうか。

○委員

市役所前の交差点の歩者分離式信号が、待ち時間がものすごく長くて不便だと感じています。歩者分離よりも普通の信号にしたほうが使い勝手がいいんじゃないかと思っています。

もちろん公安が決めることなので意見しにくいとは思いますが、せっかく市役所が移転して歩行者が増えたときに、信号を無視してしまう人もいるかもしれませんし、もう少し交通しやすいようになったら嬉しいなと思います。

●事務局

なぜ歩者分離になっているのか、経過を確認いたします。

○委員

網走で畑で稲を作っている方がいらっしゃいますが、網走の産業としての可能性はどうなんでしょうか。

○委員

実際に産業として伸ばそうとすると、農業団体では少し問題になっています。

現在米不足で、水田を復活させようとしているところに陸稲が出てきたとなると、水田農家からすると非常に脅威であるというのが一つあります。

あとは、なぜ水田に水を張るかという温度管理のためで、冷夏になったときにともに収穫できるのかですとか、陸稲だといろいろな規制がありますから、使える農薬や除草剤がないということで、拡大していくのはなかなか厳しいだろうと見ています。

今作っている方は試験的にやっているもので、じゃあこれを産業としてとなるといろいろなリスクが拭えていないので、安定的な収量を作っていけるかは非常に不透明なところですよ。

●議長

よろしいでしょうか。そのほか、事務局から何かありますか。

●事務局

本日も貴重なご意見ありがとうございました。

本日検証いただきました第2期総合戦略は、令和6年度で期間を終え、現在、本年3月に未来会議の委員の皆様にご承認いただきました第3期総合戦略に基づく取り組みが始まっております。委員の皆様におかれましては、今後とも総合戦略の取り組み、進捗状況へのご意見、ご協力を賜りますようお願いいたします。

●議長

本日の議事は全て終了となりますが、よろしいでしょうか。

それでは、以上で会議を終了したいと思います。ありがとうございました。

(以上)